

**インパクトコンソーシアム
第1回 データ・指標分科会資料
(2024年8月22日)**

事務局

次第

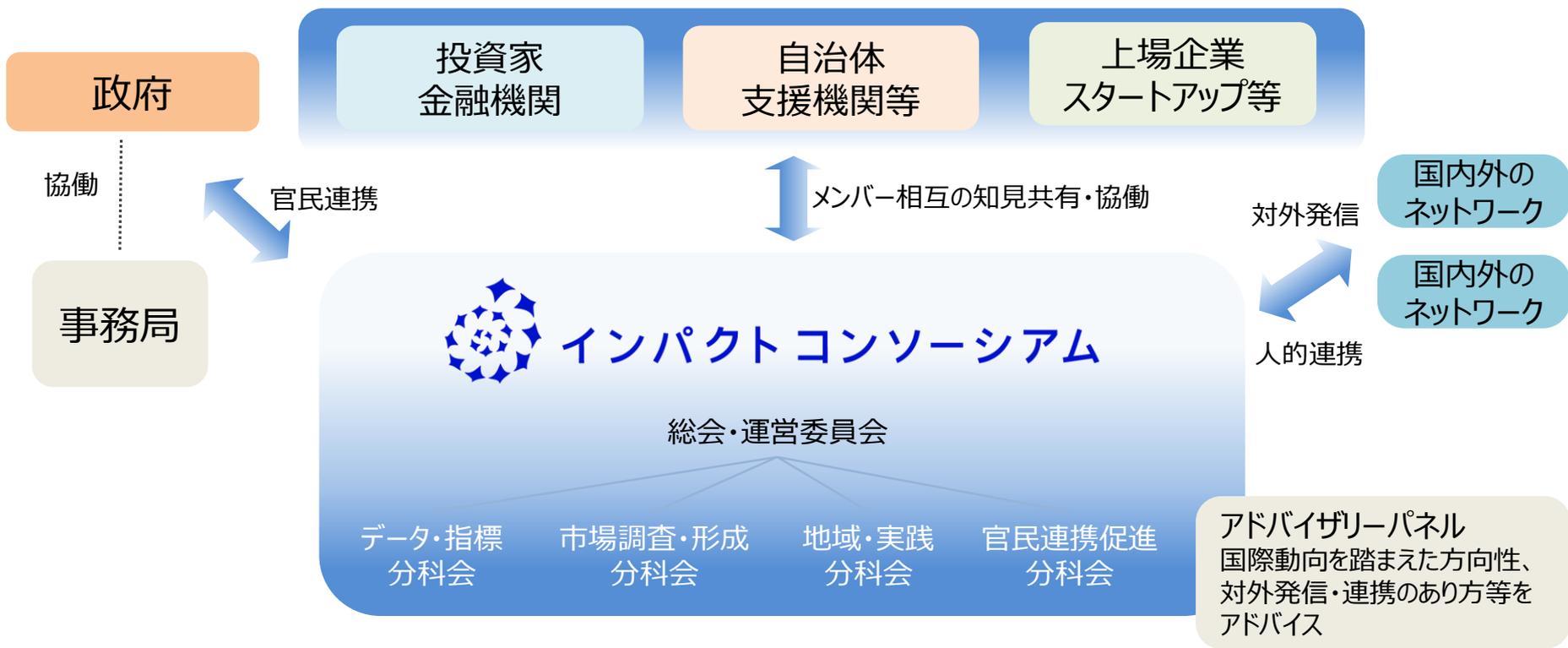
1. 開会
2. 事務局説明
3. 座長・副座長・ディスカッションメンバーの紹介
4. 分科会の進め方（今田座長）
5. インパクト測定・管理の意義（今田座長）
6. 国内外のデータ・指標やプラットフォームの状況の概観（末吉副座長）
7. 社会課題解決におけるデータ分析（山口座長）
8. Q&A
9. 閉会

1. 開会

2. 事務局説明

コンソーシアムについて

- インパクト実現を図る経済・金融の多様な取組みを支援し、インパクトの創出を図る投融資を有力な手法・市場として確立し、事業を推進していくため、投資家・金融機関、企業、NPO、自治体等の幅広い関係者が協働・対話を図る場として、23年11月、官民連携の「インパクトコンソーシアム」を設置。
- 運営については、官民連携の場として政府から支援を行いつつ、参加者の自主的な課題設定・議論を旨とし、投資指標や事例、対話・支援手法等の産金間の実践上の知見・課題の収集・発信を中心としつつ、インパクト実現の取組支援につながる幅広い事項に係る議論を行う。また、必要に応じ、政策発信を含む対外メッセージの発信等を検討していく。



スケジュールのイメージ

□ 各分科会の**具体内容やスケジュールは、分科会ごとに主体的・柔軟に検討・対応**することとしつつ、**来年3月を目途に、その時点までの議論の状況や今後の見通しなどを、運営委員会で報告**いただき、翌年度の対応につなげていくことが考えられるのではないか。

年間イメージ

※あくまでイメージであり、状況を見ながら柔軟に調整

中間報告

		2024											2025			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
イベント等							◆ 10/上 Japan Week	◆ 10/24 -25 GIIN Forum							◆ 5/● PEI Summit	
総会		5/14 第1回														
運営委員会		第4回											第5回		第6回	
アドバイザー等		グローバルアドバイザー											アドバイザー委員会			
分科会	データ・指標	インパクトに関するデータやデータベースの現状・ニーズ等を把握しながら、議論を進める														
	市場調査・形成	論点ごとに議論を積み上げ														
	地域・実践	地域企業や金融支援の具体事例を通じ、企業評価のあり方等を議論														
	官民連携促進	フィールドワーク① フィールドワーク②														
	官民連携促進	官民連携の事例共有や自治体とスタートアップの連携に向けた議論を進める														

データ・指標分科会概要（1 / 2）

概要

- 国内外の先行研究等と連携しながら、投資事例等の共有・分析等を行い、中長期的な課題解決・事業性実現等に有効なインパクト指標の設定のあり方、投資実施時のデータの収集・推計方法、社会課題を示すマクロデータのあり方など、データ・指標の項目と着眼点、収集方法等について、議論を行う。
- 当面は、企業・投資家が資金調達・投資、その後の対話に活用出来る実践的なインパクトデータが不足・不明瞭である点が広く指摘されていることを踏まえ、投資で実際に活用されたデータとケースを集約する**国際的なデータベースとの接続も含め、日本固有のデータ・指標も結合したデータベースの整備・運用等に向け、議論を進める。**

メンバー

※敬称略・五十音順

- 座長：一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事 今田 克司
東京大学大学院経済学研究科 教授 山口 慎太郎
- 副座長：株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部副部長 末吉 光太郎
- ディスカッションメンバー（12名）
 - ・ 株式会社メトリクスワークコンサルタンツ 青柳 恵太郎
 - ・ 第一三共株式会社 有馬 寛
 - ・ KIBOW社会投資ファンド 五十嵐 剛志
 - ・ 野村証券金融工学研究センター 太田 洋子
 - ・ 積水化学工業株式会社 岡田 邦彦
 - ・ 慶應義塾大学准教授 川久保 俊
 - ・ 第一生命保険株式会社 小山 直希
 - ・ 大和ハウス工業株式会社 関 沙織
 - ・ アセットマネジメントOne株式会社 鷹羽 美奈子
 - ・ Nippon Life Global Investors Europe Plc 林 寿和
 - ・ ユニファ株式会社 星 直人
 - ・ 株式会社日本政策投資銀行 松山 将之
- メンバー：データ・指標分科会メンバーに応募のあったコンソーシアム会員（108）

活動と成果のイメージ

1

インパクトデータ・指標の 現状・課題等の整理

- ・ インパクト測定・管理の意義、必要と考えられる各種データ・指標とその重要性について、幅広い分科会メンバーと認識を共有した上で、分科会メンバーに対するアンケート調査を実施し、ニーズを把握する。
- ・ その上で、インパクト投資や事業実施に必要なデータ・指標や、それぞれのニーズに応え得る既存のデータベースとその特性、データベースに関する課題等を整理する。

2

有用なデータベース構想 に向けた検討の観点の整理

- ・ 多様な企業・投資家がインパクト測定・管理に取り組む際に有用なデータベース構想に向けた検討の観点を洗い出し、整理する。
- ・ 検討の観点として、例えば、日本または地域の環境・社会課題に対応するインパクトデータ、インパクトを測定・管理する場合に必要なマクロデータの整備状況等を取り上げる。

3

望ましいデータベースの 基本的考え方 (コンセプトペーパー)

- ・ 関係者のニーズを踏まえ、既存のインフラでは不足しているデータ・指標や機能等を特定し、望ましいデータベースを構想する。
※例えば、投資家や企業のインパクト戦略・目標に紐づく指標が特定され、それに関連するデータの存在がわかるような仕様や、海外のインパクト指標関連ツールとの連携、関連情報や活用事例の掲載等が考えられる。

- ・ 開催形式はオンライン、1回につき2時間程度で、2025年5月までに3回程度の開催を予定（変更の可能性あり）。
- ・ オーガナイズングデスクはデータ・指標に関する事例調査等の国際連携の支援や、分科会における議論の分かりやすい発信等を実施。

3. 座長・副座長・ ディスカッションメンバーのご紹介

座長・副座長・ディスカッションメンバーのご紹介

メンバー

※敬称略・五十音順

- 座長：一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ 代表理事 今田 克司
東京大学大学院経済学研究科 教授 山口 慎太郎
- 副座長：株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部副部長 末吉 光太郎
- ディスカッションメンバー（12名）
 - ・ 株式会社メトリクスワークコンサルタンツ 青柳 恵太郎
 - ・ 第一三共株式会社 有馬 寛
 - ・ KIBOW社会投資ファンド 五十嵐 剛志
 - ・ 野村証券金融工学研究センター 太田 洋子
 - ・ 積水化学工業株式会社 岡田 邦彦
 - ・ 慶應義塾大学准教授 川久保 俊
 - ・ 第一生命保険株式会社 小山 直希
 - ・ 大和ハウス工業株式会社 関 沙織
 - ・ アセットマネジメントOne株式会社 鷹羽 美奈子
 - ・ Nippon Life Global Investors Europe Plc 林 寿和
 - ・ ユニファ株式会社 星 直人
 - ・ 株式会社日本政策投資銀行 松山 将之

4. 分科会の進め方

分科会座長 今田 克司氏

5. インパクト測定・管理の意義

分科会座長 今田 克司氏

6. 国内外のデータ・指標や プラットフォームの状況の概観

分科会副座長 末吉 光太郎氏

7. 社会課題解決におけるデータ分析

分科会座長 山口 慎太郎氏

8. Q & A

① 属性を教えてください。

- A) 事業会社
- B) 金融機関等
- C) 中間支援、コンサルティング会社、格付機関等
- D) 政府機関、国際機関、自治体関係者
- E) その他

② 関心の高い課題は何ですか(複数回答可)

- A) 気候変動
- B) 生物多様性、環境保全
- C) 健康・医療
- D) 教育・子育て
- E) 食料・農業
- F) インフラ整備 / 都市開発
- G) 人材 / 働き方
- H) 中小企業支援
- I) 女性活躍推進
- J) すべての人の権利保障

- ③ IMM(インパクト測定・マネジメント)について、どの程度の知識・経験がありますか？
- A) よく知らない
 - B) 国内外のフレームワークやガイドラインの学習含め、知識の習得をしている
 - C) Bに加え、実践を進めている
(または実践の支援、研究、取りまとめをしている)
 - D) Cに加え、自らまたは他社の取り組みをグッドプラクティスとして共有・紹介できる経験値が蓄積している

- ④ 以下のうち、インパクトに関するデータ・指標の整備を進めるために注目すべきものや取り組みを強化すべきものはどれだと思いますか？（複数回答可）
- A) 社会課題マップ等、国内の社会課題の構造化の取り組み
 - B) 国内外のサステナビリティ開示の動き
 - C) 国内外の統合報告書などに見られるマテリアリティの特定やそれに呼応する企業ごとの取り組み
 - D) 海外のインパクト投資フレームワークやツール
 - E) インパクト会計など、インパクトの金銭価値換算の動き
 - F) マクロデータの充実と開示

（その他あれば、事後アンケートでインプットお願いします）

9. 閉会